

# 2020 年度大学院博士前期課程 修士論文等提出について（3月修了予定者）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2021 年 3 月修了予定者の修士論文等の提出については、データによる提出とします。以下の方法により提出してください。

提出物	形式	ファイル名
① 修士論文等	PDF	O1.修士論文_学籍番号_氏名.pdf または O1.修士研究_学籍番号_氏名.pdf
② 修士論文等の要旨	PDF	O2.和文要旨_学籍番号_氏名.pdf O2.英語要旨_学籍番号_氏名.pdf または O2.●●語要旨_学籍番号_氏名.pdf
③ 学位（修士）申請書	所定様式 Excel (学務情報システムから出力)	O3.学位（修士）申請書_学籍番号_氏名.xlsx
④ 2020 年度修士論文等届	所定様式 Excel (学務情報システムから出力)	O4.修士論文等届_学籍番号_氏名.xlsx
⑤ 主任指導教員の承諾メールの写し	PDF	O5.主任指導教員承諾メール_学籍番号_氏名.pdf

## 【各提出物について】

### ①修士論文等

表紙・目次・図表なども統合した1つのデータファイルで提出すること。PDF ファイルに変換した際に、レイアウトの崩れや文字化けや欠落等の不具合が生じていないかを提出前に確認すること。

### ②修士論文等の要旨（日本語：A4 判 2000 字程度 外国語：A4 判 500 語程度）

(1) 修士論文等を日本語により執筆する場合：

日本語及び主任指導教員の指定する外国語でそれぞれ作成すること。

(2) 修士論文等を外国語により執筆する場合：

日本語により作成し、提出すること。

### ③学位（修士）申請書

学務情報システムから出力した様式に必要事項を入力し、そのままの形式で提出すること。（詳細は別添のマニュアルを参照。） 学位の専門分野の名称は以下によること。

所 属	世界言語社会専攻			国際日本専攻		地域・国際専攻 (2017 年度以前入学者)
	言語文化 コース	国際社会 コース	PCS コース	国際日本 コース	日本語教育リカ レントコース	
選択できる専門分野	言語学 文学 学術	学術 国際学	国際学	言語学 文学 学術 国際学	言語学 学術	学術 国際学

#### ④修士論文等届

学務情報システムから出力し、そのままの形式で提出すること。(詳細は別添のマニュアルを参照。)

#### ⑤主任指導教員の承諾メールの写し

指導教員から申請書類を確認し、修士論文等の提出を許可する旨の承諾メールを PDF ファイルに変換すること。

修士論文等題目届提出後、修士論文等の「題目」を変更した場合は、変更についても主任指導教員から承諾を得ること。

#### 【提出方法】

Google Classroom によるオンライン提出 (詳細は別添のマニュアルを参照。)

☆ 現在、google を使用できない地域・国に居住する学生については、2020年12月11日(金)までに教務課大学院係 ([kyoumu-daigakuin@tufs.ac.jp](mailto:kyoumu-daigakuin@tufs.ac.jp)) までメールで連絡してください。その場合は TUFSS Moodle を使用して提出していただく予定です。

#### 【提出期間】

2020年12月21日(月) 9:00 ~ 2021年1月6日(水) 16:00 (日本時間)

上記①~⑤のデータのいずれも、上記の期間に提出してください。

#### 【最終試験日程予定】

2021年2月11日(木) ~12日(金)

試験日程等は、修士論文提出後にお知らせします。なお、最終試験日を上記以外の日程で行う場合もあります。

#### ※注意事項

- 提出期間を厳守してください。提出期間を過ぎた場合には受理しません。締切を過ぎると一切提出できなくなります。
- 提出は、締切間際ではなく、十分余裕をもって行ってください。  
(PC 環境や通信ネットワーク混雑等の問題により提出できなかった場合は、本人責任です。)
- PC で作成する場合、機器故障やデータの破損、消失等による提出の遅延は一切認めません。必ずバックアップ等の保全処置を講じるようにしてください。
- 提出は、かならず作成者本人が行ってください。
- 以下の期間、大学の窓口等のサービスは停止します。この期間、教務課窓口だけでなく、メールの対応もできません。ご注意ください。

2020年12月26日(土) ~2021年1月3日(日)

2020年11月30日 教務課大学院係  
問い合わせ先：[kyoumu-daigakuin@tufs.ac.jp](mailto:kyoumu-daigakuin@tufs.ac.jp)